



経営管理委員会会長
八木岡 努



代表理事理事長
小林 富美男

ごあいさつ

平素より、私ども茨城県信用農業協同組合連合会（JAバンク茨城県信連）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年（1948年）の設立以来、JAグループの一員として県内JAとともに茨城県農業と地域社会の発展に取り組んでまいりました。

この度、当会の経営理念・経営方針・事業内容等をみなさまにご紹介するため本冊子をまとめました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、2022年度は、ウクライナ情勢等を背景とした原油、資材等の物価高騰や、自然災害、鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生等により、厳しい経営環境が続くなか、当会は「農業の専門金融機関」として、JAグループ茨城、県内JAとともに、農家経営の安定と向上に資するよう金融面からの経営支援をさせていただきました。また、コロナ禍を経た社会の価値観、行動の変容は、社会インフラのデジタル化（DX）を一層加速させており、組合員・利用者へのネットバンク、アプリ機能、通帳レス等の利用拡大を図るとともに、これらの金融機能の不正防止に対するマネロン対策やサイバーセキュリティ対策を強化しております。

金融環境においては、欧米主要中央銀行でのインフレ抑制から金利が引き上げられる一方、日銀からは金融緩和策継続の考えが示され、株式市場は、将来の景気後退への懸念等を受けて下落傾向が続いたほか、日欧米の金利格差により為替市場は大幅な円安が進行し、2022年度は難しい運用環境となりました。このような先行きの見通せない経営環境ではありましたが、有価証券等の効率的な運用やリスク管理の徹底に努めた結果、当会の2022年度決算については、所期の目標を達成することが出来ました。

2023年度は、3か年中期経営計画（2022年度～2024年度）の中間年度となります。県内JAと連携し、「持続可能な農業・地域社会の実現を支える金融仲介機能の発揮」への実現に向け一層取り組んでまいります。

当会は、これからもJAグループ茨城の一員として農業・地域の持続的な成長・発展に貢献し、組合員・利用者のみなさまから信頼される地域金融機関を目指して、役職員一丸となって更なる努力を重ねてまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

経営管理委員会会長 八木岡 努

代表理事理事長 小林 富美男